

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-3-2 男女共同参画の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 男女共同参画室長 塩冶 朋江 電話番号 0852-22-5243

事務事業の名称	男女共同参画の理解促進事業	
目的	(1) 対象	県民（主に成人）
	(2) 意図	社会のあらゆる分野における男女共同参画を推進するため、男女の性別による固定的性別役割分担意識を解消し、こうした意識に基づく制度や慣行を見直すよう努めてもらう。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 様々な立場の人たちに男女共同参画への理解を深めていただくため、地域、学校、職場などにおいて研修、講座、セミナー等を開催する。 男女共同参画に係る県民の活動拠点であり、普及啓発事業を総合的に展開している男女共同参画センターを適切に管理運営する。（指定管理） 	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	固定的性別役割分担意識にとらわれない人の割合	目標値	69.00	71.00	
	式・定義	県民世論調査	実績値	66.90	71.60	69.00	73.40	%
			達成率	103.80	97.20	100.60		%
	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値	0.00	0.00			
	式・定義		実績値	0.00	0.00			
			達成率	0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	87,633	81,956
うち一般財源 (千円)	75,978	70,341

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・固定的性別役割分担意識にとらわれない人の割合は73.4%で23年度以降最も高く、目標値の73.0%を上回っている。また、内閣府が平成26年度に行った全国調査による数値（49.4%）をも大きく上回っている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・第2次男女共同参画計画（H23～H27）により重点的に取り組んできた、男性や若者を対象とした啓発事業によって、固定的な性別役割分担への若年層の意識が大きく改善された。（平成26年度実施の「男女共同参画に関する県民の意識・実態調査」による）
 ・男性を対象とした講座の受講をきっかけに、一部の参加者が自主的に活動を継続するグループを結成するなど、地域住民自身による新しい取り組みを生み出した。
 ・企業トップセミナー、職場で学ぶライフマネジメント講座など、経済団体、企業との連携・協力により、個人や地域のみならず、企業・団体を対象とした啓発の機会も増えている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・男女共同参画への理解は進んでいるが、一部の人々には依然として固定的な性別役割分担へのこだわりが残っている。
 ・家庭において、食事のしたくやかたづけ、掃除などは依然として妻が担う仕事となっている。（平成26年度実施の「男女共同参画に関する県民の意識・実態調査」による）

②困っている状況が発生している「原因」

・男女とも、高齢層においては他の年代よりも固定的性別役割分担意識を否定する割合が低い。（平成26年度実施の「男女共同参画に関する県民の意識・実態調査」による）

③原因を解消するための「課題」

・より幅広い世代に対する啓発、理解促進に取り組む必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・第2次男女共同参画計画に基づく事業を着実に実施することにより、引き続き年代、性別を問わない啓発、理解促進に取り組んでいく。
 ・啓発事業の実施にあたっては、引き続き男女共同参画センターを拠点施設と位置付け、市町村や各団体、企業等と連携しながら、それぞれの地域や団体等における課題や実情を把握のうえ、適切に効果的な事業を展開していく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）